

千葉大学医学部附属病院で胃腫瘍の治療をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年4月1日

消化器内科

消化器内科では、「当院における胃腫瘍に関する後ろ向き研究」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2005年1月1日～2025年3月31日の間に消化器内科で胃腫瘍の治療をされた方

1. 研究課題名

「当院における胃腫瘍に関する後ろ向き研究」

2. 研究期間

2024年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

胃腫瘍における治療法は多岐にわたります。しかしながら予後を考慮した治療法、治療法の詳細(局注液の種類や、縫縮の有無等)の正確な選択は明らかでなく不明な点も多いのが現状です。本研究では自施設のデータを検討することで、それらの不明点を明らかにすることを目的としています。本研究により患者さんにとってより安全で負担の少ない、治療効果の高い治療法が選択可能となる事が予想されます。

該当する研究対象者のカルテからデータ(性別、年齢、血液データ、合併症、病変、治療成績やその他の情報)を収集し検討します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録に記録されている性別、年齢、血液データ、合併症、病変、治療成績やその他の情報

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：消化器内科 診療講師 沖元謙一郎

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、電子カルテ端末上のイントラネットにおいて厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応いたしますが、学会や論文で公表後に関しては対応できないこともあります。ご不明な点がございましたら下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院

消化器内科 診療講師 沖元謙一郎

043(222)7171 内線72808